

【臼杵】「臼杵市の観光促進と地域の活性化」をテーマに研究した立教大観光学部（埼玉県）の風間欣人特任教授と学生23人が22日、観光施策を市に提案した。

臼杵観光若者の視点で 都心部の大学生が市に提案



臼杵焼の質問をする学生＝臼杵市深田

上質な食、周遊に可能性

風間特任教授＝顔写真上
＝と市地域おこし協力隊員の
小泉力郎さんが民間企業
で同僚だった
縁で実現した。臼杵磨崖
仏国宝指定30
周年記念事業の一環。
学生は4グループに分か
れて9月に研究を始めた。
10月には同市を訪れ、臼杵
磨崖仏や臼杵焼を製造販売
する工房、食文化の関連施
設などを見学。城下町をく
まなく歩いた。その後、学
内で提案へ向け討議を重ね
た。
発表はオンラインで実施
した。各グループは同市を
コンパクトで歩きやすく上
質な食が楽しめる街と評
価。各所に日本酒サーバー
を設置することや、訪日外



風間特任教授＝顔写真上

国入旅行者向けに同市と別
府市、由布市湯布院町をハ
イヤーで周遊し食を堪能す
るツアーなどを必要経費や
目標値を示して提案した。
地理的課題を指摘し、ふ
るさと納税の活用促進を提
案した出石響子さん(20)＝
3年・同下＝
は「研究する
ことで臼杵フ
アンになっ
た。多くの人が臼杵を知っ
て継続的に関わってほし
い」。風間特任教授は「都
心部の若者視点で地域の可
能性を感じ取ってくれた」
と振り返った。
市は「細かなデータ分析
と若い発想に驚いた。次期
観光振興戦略の参考にした
い」と話した。
(小林滋)



出石響子さん(20)